

## 第9回 焼津市自治基本条例を考える市民会議・記録

平成24年6月24日（日）13:00～16:00

（焼津市役所6階 603号室）

### 1. はじめに

#### ○開会あいさつ

事務局：いよいよP I活動が本格的に始まった。この市民会議については、まだ拡散の時期ではあるが、徐々にまとめ、収束を意識して進めていきたい。

事務局：今日は総務部長も参加する。また、これまで以上に市職員も話し合いに参加させていただきたい。

- ・市の情報も知っていただいた方が良くということで、今後何回か連続でミニ講座をやりたい。今日はその1回目として、焼津市の基本的な行動計画である総合計画について情報提供したい。これは行政の行動計画だけでなく、市民の皆さんの行動計画でもある。

### 2. ミニ講座「焼津市の総合計画について」

#### ○ミニ講座「焼津市の総合計画について」

事務局：総合計画は、法律に基づいて策定が義務付けられており、議会の議決が必要だという法律の規定になっていた。「なっていた」というのは、法律が昨年8月に改正され、義務付けが削除されたということ。今後は、総合計画をつくる・つくらないも自治体の判断に委ねられた。

- ・これは、地方分権、地域主権の流れからきている。今後、総合計画をどのような位置付けにしていくかを市民会議でも議論していただきたい。

#### 〈1. 総合計画とは〉

- ・市のまちづくりの指針となるもので、市民や事業者、行政が共通して目指す、まちづくりの方向やそれを実現するための施策などを定めた計画。

#### 〈2. 総合計画の策定と策定経過〉

- ・焼津市第5次総合計画の策定は、平成23年3月。経過としては、21年度から23年度にかけて、市民参加を得ながら作成した。

#### 〈3. 総合計画の体系〉

- ・体系として、長期・中期・短期の3段階がある。長期は「基本構想」で将来都市像や政策が掲げられている。この基本構想が、法律に基づいて議会の議決を経て必ず定めることになっていた。中期は「基本計画」、短期は「実施計画」となっている。

（焼津市第5次総合計画の体系図） ※別紙資料「焼津市第5次総合計画の施策体系図」

- ・「基本構想」は、平成23～30年度の8年間の長期計画で、将来都市像は「人がキラリ 海がキラリ まちをキラリ～活力と自然の恵みに満ちたまち 焼津」となっている。
- ・それを実現するための政策が6つある。
- ・その次に「基本計画」（中期）がある。平成23～26年の4年間の計画。そこには32の施策が掲げられている。そのうちの5つの施策が重点施策となっている。さらにこの施策を実現するための「基本事業」が122ある。
- ・「実施計画」（短期）は平成24～26の3カ年の計画で、具体的な「事務事業」が1,166ある。この「事務事業」が、直接的な市民サービスとして認識されているものだと思う。

#### 〈4. 市は総合計画に基づいて仕事をしている〉

- ・皆さんからいただいた税金は、総合計画の実現のために有効かつ効率的に活用させていただいている。

#### 〈5. 総合計画の進行管理〉

- ・税金で進めている以上、総合計画が本当に達成できているかどうかということがある。それに

については、「行政評価システム」というものを用いて進行管理をしている。計画（Plan）、実施（Do）、評価（See）というシステムで評価し、公表している。

- ・施策には、それぞれ目標が設定されており、どれだけ達成できているかを評価している。
- ・7月29日に「まちづくり市民会議」を開催し、策定に関わった市民を中心に、他の市民も参加しながら、32の施策の概要について説明することになっている。8月4日には地区説明会を2カ所で行い、5つの重点施策を中心に説明することになっている。皆様にもぜひご参加いただきたい。

#### 〈6. 総合計画の位置付け〉

- ・ここからが、皆さんと一緒に考えていきたいところ。
- ・これまでの総合計画は法律に基づいてつくっていたが、昨年法律改正により義務ではなくなった。地域主権の流れの中で、市町の判断で決めることになった。

（総合計画の4つの基本的な役割）

- ①市民や事業者、行政が共通して目指す、まちづくりの指針を示すもの
- ②市財政の長期的な展望を踏まえながら、総合的かつ計画的な行政経営の指針を示すもの
- ③市の最上位計画として、福祉、教育、環境などの分野における個別計画を策定する際の指針を示すもの
- ④国・県などが本市に係る計画策定や事業を実施する際に、最大限尊重されるべき指針となるもの

#### 〈7. 総合計画をどう考えるか…〉

- ・今後、考えられる可能性は基本的に、(1)総合計画はつくらない、(2)条例に位置付けずに任意でつくる、(3)きちんと条例に位置付けてつくる、という3つがある。
- ・今後、総合計画をどうしていくかについて、この市民会議でも議論していただきたい。

### ○前回の振り返り

事務局：前回は最初に、P Iの実施にあたり、事務局から配付資料（はじめの一步案）とプレゼンテーションの案をお出した。

- ・プレゼンテーションについては前回の意見を踏まえて修正した。人口推計のグラフで年齢構成の分類を追加し、人口減少だけでなく少子化、高齢化の進行も分かるようにした。データの出典も明記した。
- ・資料は、「はじめの一步案」の量が多いという意見もあったので、A4両面の簡易版も作成した。項目のみを列記したもの。
- ・皆さんの話し合いでは、P Iでの欠かせないキーワードや条例の必要性の伝え方、見せ方の工夫などについてを中心に議論した。
- ・すでにP Iを行っているグループもある。コミュニティと産業で1回ずつ実施している。対話形式ではないが、アンケートをとっているグループもある。後ほど、情報共有していただきたい。

### **3. 各グループからの報告：P Iの実施計画や実施状況についての情報共有**

今井：当初の予想以上に皆さんの積極的な取り組み姿勢により、すでにP I活動が具体的に始まっているのは素晴らしいと思う。

- ・今日の内容は、こここのところグループ単位で動くことが多いので、全体で集まる市民会議は、各グループで考えていることや経験したこと、悩んでいることなどをお互いに交換することで、全体として情報共有する場としたい。今日の情報交換を通して、各グループが今後行うP I活動が充実したり、不安が解消されたりできればと考えた。

## ○各班の報告

### 【市民活動団体】

- ・前回から、P Iをどう進めていくかの確認をしている。個別に動いたりしながら、今後スケジュールを決めていこうとしている団体が6団体あり、詳細を決めようという話をしている。

### 【産業】

- ・前回以降、グループで1回集まり、P Iの進め方について話し合った。
- ・前は漁協に行こうと話していたが、漁協職員と話をするよりは、経営者と話がしたいという方向になり、話が重くなってきた。そこで、「青年部と話をするのはどうか」という話になり、商工会議所青年部で役員会があるので、そこに行こうということになった。
- ・6月22日(金)の役員会でP I活動をしてきた。参加者は5~6名。最大30分という約束で、最初の10分間で自治基本条例について説明し、残り20分で意見交換をしてきた。
- ・最初の説明は、事務局作成のスライドを使い、10分で話ができた。しかし、もっと数字の説明などは簡単にして、「自治基本条例とは？」ということや、意見交換をする目的をはっきりさせた方がよいと思う。
- ・説明の後、「皆さんからご意見を」と言ったが、なかなか口火を切る人がなく、沈黙が続いてしまった。そこでリーダーが、個別に質問をしたところ、意見が出始めた。意見交換の際は、答えやすい質問をあらかじめ用意しておくのがよいと思う。

### 【福祉・高齢者】

- ・前回計画していたが、相手先の都合などの関係で、7月以降に計画し直すこととした。
- ・資料は、事務局作成のものとグループで作成した福祉・高齢者の現状に関する資料をあわせて、20分くらいの内容になっている。
- ・説明した後に、質問したり、理解度を確認する時間を確保するのが難しいので、アンケートを作成し、参加した皆さんの意見などを書いていただく形にしたい。
- ・今日は、グループとして、予定を練り直し、今後、各団体に声をかけていきたい。

### 【子育て】

- ・前回以降、グループで1回集まった。対象として、子育て世代をターゲットにしようということで、長い時間をとっていただくのは難しいだろうということで、アンケートによる情報収集を中心に進めていこうと考えた。
- ・アンケートは単純なものをつくり、今日までに3回ほど実施した。しかし、時間が限られるので、説明しても回答者に当事者意識をもってもらうのは困難だという印象。
- ・自分の立場を外においてアンケートを記入されるので、ドライな意見が多く、自分から動くとか、自分が何かするという、市民の条例のエッセンスが抜けてしまっているような回答になっている。現在は、そういう状況。
- ・短い時間でも、当事者意識をもっていただけるような説明の仕方を考える必要がある。当事者意識を持って答えていただけるようなアンケート用紙をつくれればとも思う。

### 【コミュニティ】

- ・6月21日に1回目のP Iを実施した。その前の6月10日に、同じ地区で会議を開き、リハーサルを行った。そこで出てきた意見を踏まえて本番に向かった。
- ・6月21日はあまり天気がよくなかったが33人の方が参加した。夜7時から約1時間というこ

とで、終わったのが7時50分だったので、お集まりいただくということでは、まずまずの時間だったと思う。

- ・今回の会場となった東益津公民館は、メンバーの松永さんの地元であることから、人集めをしていただいた。
- ・役割分担は、司会者、あいさつする人、説明する人、アンケートを考える人。
- ・パワーポイントを使用し、はじめの一步案の項目について説明を加えた。25分の説明の後、15分意見交換を行った。一番恐れたのは、意見交換で要望が出ることだったが、基本条例についての意見もあったし、要望もあった。
- ・アンケートの中でも、自治基本条例の必要性についてわかっていただけない方があり、「あまりよくわからなかった」が7名、「まったくわからなかった」が2名だった。これについては説明の仕方などについて反省点があると思う。わからなかった方には、どこがわからなかったかも聞いている。
- ・わかりやすい言葉でやったつもりだが、役所主導のような、もう条例案ができあがっているような印象も持たれてしまった。参加者の意見がもっと出しやすいような方向付けも必要なのではないかと思う。
- ・共通事項として「はじめの一步案」を基本として、その上にグループのテーマを付け加えるようにした方が、この条例をつくる必要性や目的を理解してもらいやすいのではないか。
- ・意見をうかがった時、知識のある方が専門的、具体的な意見を出したので、他の人がもっと身近な質問や意見が出しにくくなってしまったということもあった。むしろこちらから、「この点はどうでしたか？わかりやすかったですか？」と聞いた方が、平たい意見が出たのではないかと思う。

#### **4. グループをシャッフル：グループ間で成果や反省点を共有しよう**

今井：これからグループをシャッフルし、お互いに情報交換をしたいと思うが、その前に、実際にコミュニティと産業のグループのP I活動の状況について、事務局の人ほどの印象をもったかなど、話を聴きたい。

事務局：実際にP I活動を行う中で、皆さんと情報共有をしっかりとしておいた方がよいと思った点がいくつかあった。

- ・ひとつは、P I参加者からも質問があったが、議会の関係のこと。この市民会議で自治基本条例について考える時、議会について「～すべき」と言うことは越権行為なのではないかという意見があった。私からは、これまでは行政と議会がまちづくりを動かしてきたが、そこで市民も主体的として前面に出てきた。それぞれの主体を位置付けることが必要というふうに答えた。議会には、事務局から市民会議について情報提供しており、また、最終的には議会が議決することになるので、市民会議が勝手に決めるものではないという話もした。
- ・もうひとつは、会場に私たち（事務局）がいると、市民同士の話し合いといっても市の職員がいるのではないかと、となったり、市役所がしっかりやるならこんな条例はいらないというご意見もあった。行政が政策としてその都度、気づいたことをやればということ。しかし、この条例は、今後長きにわたる焼津市のまちづくりの方向性や考え方を決めたいものなので、短期的な政策を市長がやるというよりは、誰が市長になってもぶれない大事な部分を決めたいということ。

##### **(1) 他のグループから学ぼう**

(各グループのメンバーが混ざるようにシャッフルし、P I活動について情報交換)

- ・既にP I活動を実施したグループから…うまくいったことや反省点と理由、自治基本条例づ

くりへの良い意見や議論など

- ・まだP I活動を実施していないグループから…やろうと考えていること、心配なこと、疑問に思っていることなど
- ・「学んだことカード」に、気づいたことを書き留めておく

### （2）学んだことを自分のグループに持ち帰り、今後の進め方に活かそう

#### ※別紙資料「市民会議委員それぞれの『学んだことカード』・グループ毎のまとめ」

（元のグループに戻り、それぞれの「学んだことカード」を模造紙に貼り付けながら報告し、学びを共有した上で、今後のグループのP Iの進め方について話し合う）

### （3）各グループより発表

#### 【市民活動団体】

- ・今、それぞれのメンバーが勉強してきた中で、一番きびしいと思ったのは、時間的に相当制約されるだろうということ。
- ・もう一つは、一番頼りにしてきた市役所の人達がP I活動で表に出ることに対して色々意見があったことを、どう受け止めたらいいのか？ということ。
- ・私たちのグループでは、全員で行動するよりも、少人数のグループに分かれて行くような形になると思う。行くメンバーの考えを表に出してもらっていいのではないかな。
- ・7月10日に下打ち合わせの会議を行い、さらに考え方を共有したい。

#### 【産業】

- ・「学んだことカード」から抜粋すると、まず、P I活動について、他の市民の皆さんも分かりやすい言葉でどういう活動が伝えていった方が良さだろうということ。
- ・要望がかなり多く出されているようなので、それも踏まえて質問も考えなければ。
- ・市職員の自己紹介などについては、なるべく控えめにやって、市民会議メンバーが表に立ってやった方が良さそうだ。
- ・将来のことを考えると、学生や若い人も集めて考えてもらった方が良さそう。利害関係もない。
- ・プレゼンテーションでスライドを使っているが、それにこだわらず、色々なスタイルを工夫してやっていければと思う。
- ・プレゼンテーション技術を磨かないと、伝えたいことも伝わらないので、勉強していかなければ。
- ・私たちのグループのポイントとしては、とにかく分かりやすい言葉で、質問にはなるべく市民会議メンバーが答える（分からない質問は市職員がフォロー）、スライドにはこだわらない、若者の参加を促す、プレゼンの技術の講習会をやってもらったら、ということ。

#### 【福祉・高齢者】

- ・一番大切なのは、「P I活動」というのがなじみのない言葉なので、「自治基本条例をPRしに来ました」とか、分かりやすく入って、一番伝えたいのは「なぜ自治基本条例が必要なのか」ということなので、そこをポイントとしてしっかりおさえたい。
- ・例えば、他の委員のアイデアだが、「交通渋滞はなぜ起こるか」という例えで、それぞれが勝手に運転していたら自然に渋滞が発生してしまうが、一つのルールや目的を共有していけばスムーズに交通も流れていくといったことから必要性について訴えられないかと思う。
- ・他のグループの話聞いても、参加者に当事者意識をもってもらおうのがすごく難しいという話があった。福祉高齢者の関係者は、当事者意識は高い方だと思うが、そのために要望がどんど

ん出てきてしまうことが予想される。要望が出てきても、それを実現するために自分たち自身がどうしたらいいかを考えて意見を出してもらえるようにしたい。要望が出てきた時の対応もしっかり共有しておきたい。

- ・分かりやすい言葉でどれだけ伝えられるかが大事。雰囲気づくりという面でも焼津弁を使ったり、皆さんがなごんで話ができるようにしていきたい。

#### 【子育て】

- ・今までの発表でも、重視したいことは大体共通しているが、グループでちょっとしたアンケートを実施していたり、他のグループのような説明はしていないので、印象に残ったことをお話ししたい。
- ・前々回のレジュメにもあったが、ちょっとしたことで意見の出方は変わる。話し合いの前に座席の並びなどもよく考えて、意見を聴きやすいような配置を考えていきたい。
- ・今後の予定は、7月にPTA連絡協議会の母親研修があり、各校から母親委員が2名ずつ集まるので、市P連の担当者に依頼を出し、PIを実施したい。
- ・7月11日に保育園協会の理事会があり、市内の保育園の園長先生が集まるので、PIにうかがいたい。その上で、各保育園でご協力いただけるのであれば、対応していきたい。
- ・大井川保育園という大きな保育園があるので、役員会にうかがい、可能であれば夏祭りで広報活動などをやりたいと考えている。

#### 【コミュニティ】

- ・他のグループとの情報交換で学んだのは、まず、「PI活動」という言葉から考え直して「対話集会」などとしたら、ということ。「条例」という言葉も構えられてしまう。条例というのは、市民が参加できる仕組みづくりと考えたらどうか。なるべく平たい言葉を使って、理解を得たいと思う。参加しやすいようにしたい。
- ・専門的な分野では要望が多くなったという話があったが、私たちも要望が多くなりがちな面があった。しかし、要望が多くなったとしても、その中からくみ取れるものはくみ取って条例に活かしていくことも、市民目線という意味で大事なことだと思う。
- ・7月11日に総合福祉会館で、大村、豊田地区の自治会の皆さん（役員だけでなく、お住まいの皆さんも）を集めてPIを予定している。7月、8月に2回ずつ実施予定。
- ・（自治会向けのチラシ）回覧用に作成している。それ以外のPRとしては、自治会の中でも活動している団体がある（ボランティア、中年、老人会に入る前のスポーツ団体など）ので、それらの役員にも参加をお願いしていこうと考えている。

#### 5. おわりに

事務局：次回、7月22日(日)は、大村公民館が会場となる。その次は8月19日(日)。9月は、23日がオータムフェストでブースを出すので、委員さんにもご参加いただきたい。9月29日(土)はワールドカフェを行いたい。PI活動の締めくくり。会場はウェルシップやいづの多目的ホール。

事務局：今日の話にも出ていたが、もっと市としても広報を行っていきたいので、皆さんのアイデアもお寄せいただきたい。

事務局：本日も、熱い議論をありがとうございました。予備知識のない中でのPI活動なので、難しい面もあるようですが、地道にやっていく中で浸透させていくしかないとも思うので、一歩ずつ進めるということでもよろしくお祈りします。

- ・（閉会）